



令和3年度決算の注目事業

商工費

道の駅整備事業
約 13 億 9,713 万円



令和3年オープン。市内外から来た多くの人でにぎわっています。

土木費

多目的広場整備事業
約 3 億 5,748 万円



令和3年に開園した笠間中央公園の多目的広場を整備しました。

民生費

子育て世帯を
対象とした給付金事業
約 10 億 2,697 万円



子育て世帯へ臨時特別給付金を支給しました。

問 笠間市の脱炭素に向けた取り組みの周知方法は、【認定第1号】（環境政策課所管）
答 紙製のクリアファイルを作成し、庁内業務の中で市民に配布するなど笠間市の脱炭素に向けた取り組みを、PRしていくことを目的に作成をした。今後いろいろな工夫を凝らし取組みを進めていきたい。

問 公共交通対策事業について「グリーンスローモビリティの実証実験を実施した結果、また、これらの導入についてはどのような見解を持っているか。【認定第1号】（企画政策課所管）
答 観光的なニーズで概ね好評であった。その一方で、コストの問題や民間事業として成立するかなど研究の余地があり、グリーンスローモビリティにかかわらず、多様な移動手段の確保という観点では、今後さらに検討を進めていく必要がある。

決算特別委員会ではどのような質疑と答弁がありましたか？



問 グローカル人材育成事業でAETの指導助手を1校に1名を配置してから数年が経過している。この事業に対し、子ども達の英語力の成果について、また今後の事業計画や事業の見直しについて、どのように考えているのか。【認定第1号】（学務課所管）
答 英語教育は重要な教育だと捉えている。成果としては、英語のプレゼンテーションフォーラム県大会において、中学生のグループが県知事賞を獲得することが出来たなど成果に繋がっていると思う。更なる英語力の取得を目指して、計画、事業等を検討していきたい。

3日間にわたり執行部との活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、全ての会計を原案のとおり認定すべきものとなりました。

定例会最終日（9月16日）の本会議で、委員長が審査結果を報告し、採決の結果、

全ての決算を **認定** しました。

【決算特別委員会 委員】

委員長：中野 英一 / 副委員長：安見 貴志
委員：高野 聖也・坂本 奈央子・田村 幸子
益子 康子・林田 美代子
田村 泰之・村上 寿之

問 検診Web予約システム運営事業により、集団検診が予約制となり、電話とウェブの両方で予約が出来るが、ウェブ予約導入後の実績は、【認定第1号】（健康医療政策課所管）
答 令和3年度のウェブ予約実績は、2,183人で全体の28.4%である。

問 検診業務において、ウェブ等を活用していくような検討はされているか。
答 今後、ウェブ予約システムを活用し多くの検診業務ができるようにしていきたい。
問 公営住宅子育て世帯支援事業についてでは、「福原住宅への支援を事業とすることで、入居者の応募に対する成果はあったか。【認定第1号】（管理課所管）
答 福原住宅については、利便性等の関係で入居率が下がった状況にあったが、この支援事業の助成金を使うことで、現在高い入居率となっている。